



2025年3月5日

各位

会社名：AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先：財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL: 03-6261-9511)

**投資事業有限責任組合の組成および株式会社白寿生科学研究所の
株式取得の基本合意書締結に関するお知らせ**

当社は、本日取締役会において、以下のとおり当社をGP(ファンド運営者)とする投資事業有限責任組合(以下、「本ファンド」という)の組成、および本ファンドによる株式会社白寿生科学研究所(本社：東京都渋谷区、代表者：代表取締役社長 原浩之、以下、「白寿生科学研究所」という)の株式取得(以下、「本株式取得」という)についての基本合意書(以下、「本基本合意書」という)の締結を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本基本合意書を締結する理由について

当社は、2024年10月29日発表の中期経営計画中期経営計画(AI革命1.0)に記載の通り、様々なセクターの企業群の構造変革をもたらす可能性のある「第四次産業革命」と目されるAIを軸に、「自己投資事業」「ファンド事業」「PIPEs事業」「投資銀行事業」の4つの事業ドメインにおける戦略的投資・金融活動により日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2030年3月期には時価総額1,000億円を目標として掲げております。

当社の自己投資事業やファンド事業においては、「廃業率を下げる事業承継支援投資」や「地域に事業を創造するCSV(Creating Shared Value)投資」等の事業モデルも設計し、ハンズオンでの支援を行いながら、事業承継などの企業が抱える課題の解決にも積極的に取り組んでおります。

白寿生科学研究所は、1925年に創業し今年創業100周年を迎える、「総合健康企業として、人々の健康寿命の延伸に貢献する」ことを経営ビジョンとして掲げる家庭用・医療用ヘルスケア機器及び健康食品等の開発並びに製造販売企業です。1928年に創業者である原敏之氏が発明した「ヘルストロン」は、自然電界に近い電界を人工的に作り出す電位治療器です。自然電界とは、地表と上空約100キロメートルにある電離層との間に形成されるもので、この自然電界を享受すると、電界作用が皮膚の感触や圧を感じる感覚受容器を刺激し、血液の循環と身体の調節機能に働きかけることで、人が自らの体内に持つ電気のバランスを保ち、「頭痛」「肩こり」「不眠症」「慢性便秘」等のつらい症状を和らげ、本来あるべき健康な身体でいられると考えられています。1963年には「ヘルストロン」の製造許認可を厚生省(現厚生労働省)より取得し、病院、治療院、福祉施設を含む導入実績は2025年2月現



在約 4,600 カ所に上ります。

一方で、1957 年に北海道大雪山系に自生するクマザサを原料とする栄養補助食品「ササロン」を完成したことを皮切りに、カジキ・ヒジキ・ワカメ・アラメなど海の天然素材を原料とした「アルカロン」、水溶性に優れ効率よく体内補給が可能な L 型発酵乳酸カルシウムを使用した「カルシウム食品」など、日本国内で 8,000 億円以上と巨大な健康食品市場において 27 種類の健康食品を製造販売、また、8 種類のスキンケア商品の製造販売を行っております。

また、上記「ヘルストロン」の体験を提供したり、健康食品・スキンケア商品を販売している地域密着型・常設型の店舗「ハクジュプラザ」を 2025 年 2 月現在全国で約 450 施設展開しており、1 カ月の総来店者数は約 60,000 人となっております。

白寿生科学研究所が事業展開を行う家庭用・医療用ヘルスケア機器市場及び健康食品市場は、日本の高齢化に伴い健康への関心が高まる中、今後も成長拡大が見込め、また日本の医療に対する海外からの信頼が厚いことから、国内・海外ともに有望な市場であると言えますが、他の産業と同様、D X、A I の活用が今後の事業展開を左右する大変重要な要素になると考えられます。

そのような中、白寿生科学研究所の現代表取締役社長である原浩之氏が先代表取締役社長より経営を引継がれたことを機に、当社のパートナー企業からの紹介により株式取得について協議をさせて頂く機会を得ました。協議を繰り返す中で、白寿生科学研究所が家庭用・医療用ヘルスケア機器市場及び健康食品市場において有する大きな事業機会を最大限に活用するには、当社が、D X 分野で強みを持つ株式会社ショーケース（東証スタンダード、証券コード 3909）やその他の投資先企業も含めた当社グループ全体で、ファイナンス並びに D X や A I の活用などを含む経営の側面から事業承継を伴走サポートさせて頂くことが最適であるとの合意に達し、本基本合意書を締結することとなりました。

2. 本基本合意書の内容

① 設立予定の本ファンドの概要（予定）

1	名称	AIヘルスケア投資事業有限責任組合（仮称）
2	所在地	東京都千代田区（予定）
3	出資の総額	約12億円（予定）
4	組成目的	白寿生科学研究所の普通株式472,100株（議決権比率34.0%）を、同社の代表取締役社長である原浩之氏より取得し、同社の事業の発展をサポートするとともに、同社の企業価値の向上を通じてキャピタルゲインを得ることを目的とする。
5	主たる出資者及びその出資比率	AI フェュージョンキャピタルグループ株式会社（出資比率未定） 他投資家（出資比率未定）
6	業務執行組合員又はこれに類する者	AI フェュージョンキャピタルグループ株式会社



② 白寿生科学研究所の概要

1	名 称	株式会社白寿生科学研究所		
2	所 在 地	東京都渋谷区富ヶ谷一丁目 37 番 5 号		
3	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 原 浩之		
4	事 業 内 容	家庭用・医療用ヘルスケア機器及び健康食品等の開発並びに製造販売		
5	資 本 金	100,000 千円 (2025 年 1 月 31 日現在)		
6	設 立 年 月 日	1964 年 7 月		
7	大株主及び持株比率	原浩之 100%		
8	当社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
9	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2022 年 6 月期	2023 年 6 月期	2024 年 6 月期
	純 資 産	2,806 百万円	2,875 百万円	3,112 百万円
	総 資 産	7,200 百万円	8,050 百万円	7,638 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	2,019 円	2,070 円	2,241 円
	売 上 高	7,252 百万円	7,930 百万円	8,141 百万円
	営 業 利 益 (△損失)	△680 百万円	△212 百万円	11 百万円
	経 常 利 益 (△損失)	△536 百万円	136 百万円	319 百万円
	当 期 純 利 益 (△損失)	△718 百万円	57 百万円	237 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (△損失)	△516 円	41 円	171 円
	1 株 当 たり 配 当 金	-	14 円	14 円-

③日程

- (1) 取締役会決議日：2025年3月5日
- (2) 本基本合意書締結日：2025年3月5日
- (3) デューデリジェンス等：2025年3月6日～2025年3月21日（予定）
- (4) 本件実行日：2025年3月28日（予定）

④本株式取得により本ファンドが取得する株式会社白寿生科学研究所の普通株式数

本株式取得前の本ファンドの保有株式数	0 株（議決権比率 0.0%）
本株式取得後の本ファンドの保有株式数	472,100 株（議決権比率 34.0%）

本ファンドは、本株式取得後に株式会社白寿生科学研究所の普通株式 472,100 株（議決権比率 34.0%）を保有しますが、当社の本ファンドへの出資比率が 40%未満となる見込みであるため、株式会社白寿生科学研究所は当社の連結子会社・持分法適用会社ではなく、営業投資有価証券となる見込みです。



3. 今後の見通し

本投資による当社の連結業績への影響については、現在精査中であり、今後業績予想の修正の必要性及び公表すべき事実が生じた場合には、現在精査中の2025年3月期の業績予想に含めて開示いたします。

以上